



自学感動

文責：生徒指導西海

御幸祭”（おみゆきさん）

自分の行動に責任を持ちつつ、楽しもう

【気をつけること！】

- ①ワクワク気分になるが、マイナスのことにチャレンジしない！
- ②知らない大人や、他校生との交流は避ける！
- ③見学のしかたを考え、お金をむやみに使わない！
- ④ルールを守り、他人や地域に迷惑をかけない！

大人でもよくこんな人がいますよね。浮かれて、お酒飲み過ぎて物を壊したり、**ゴミを散らかしたり**、他人にけんかうったり・・・はめを外し過ぎちゃうと後が大変です。どんなに謝っても取り返しがつかないことになる場合があります。誇りある竜王北中学校の生徒であることを忘れずに、自分を大切にできる人間になってください。



本校職員もパトロールに回ります。

“御幸祭” って？

御幸祭、通称「おみゆきさん」と呼ばれる甲州三大御幸のひとつで、平安時代初期、天長2（825）年、淳和天皇の時、甲斐国内は未曾有の大水害のため、一夜にして全土が荒廃し、犠牲者や家畜の被害は数え切れなかった。その後には伝染病が流行し、被害はさらに拡大した。

時の甲斐国司文屋秋津は、朝廷にこの惨状を奏上（報告）した。時の天皇は、勅使（天皇の使い）を下し、一の宮、二の宮、三の宮の各神社に命じて、釜無川の水防祈願を行ったのが始まりといわれている。一の宮浅間神社（笛吹市一宮町）、二の宮美和神社（笛吹市御坂町）、三の宮玉諸神社（甲府市）から神輿等が竜王の三社神社に着くと川除けの儀式が行われ、治水を祈る。その際、川に向かって投げられる白い石を拾うと、厄除けや無病息災にご利益があると伝えられている。

神輿の担ぎ手は女装束の若衆で、化粧も派手やかに、独特の「ソコダイ、ソコダイ」のかけ声とともに信玄堤を足で踏み固める動作にて練り歩く。

「がんばっている」は他人が決める。

選手権大会・交流大会も近づきました。2年生、3年生は部活動にも熱がはいってきたのではないのでしょうか。そして、部を迷っていた1年生は、自分がこれから活動する部を決めることができたでしょうか。

部活動は、中学校生活の中で時間・エネルギーなど大きなウェートを占める活動です。「部」はみなさんにとって自分の居場所でもあるはずですが、オーバーに思うかも知れませんが、部活動の最後の瞬間をどのような気持ちで迎えることができるかが、その後の君たちの人生にも大きく影響してくるのです。4月のこの時期に、もう一度自分と「部活動」について考えて欲しいと思います。

さて、今回は部活動にかかわって、「がんばっている」ということについて少し話したいと思います。

中学生(と言うより日本人全部かも)がよく使う言葉に、「がんばりました」「がんばりがたいません」というのがあります。でもよくよく見てみると、その程度で?という人や、そんなにがんばっているのに?というものがありますね。「**がんばっている**」とは、**どんな状態なのでしょうか。**

部活動での取り組みでも、日々の学習でも「がんばっている」ことの統一基準はありません。「まだまだがんばりが足りませんね」と言われると、「**私、がんばってるのに先生は分かってくれない!**」とか、「**僕のがんばいをお母さんは認めてくれない!**」なんていうことがあるでしょう。私の娘も先日母親にそんなことを言って怒ってました。

でも、それは違うのです。自分に対する厳しさが人それぞれな分、「**がんばっている**」か**どうかは、自分にはわからないのです。**自分に厳しい人にとっては、毎日何時間も勉強しても「私には足りない」と自分を追い詰めてしまうし、自分に甘い人にとっては、1日に30分でも勉強したら「がんばった」と思って納得してしまう。

君が「がんばっている」のかどうかは、実のところ他人が決めるです。がんばっている人は必ず周囲が認めてくれます。がんばっている人には必ず誰かが手を貸してくれます。もし、今の自分にそういう人が現れていないと感じたら、もう少し「がんばって」みてはどうでしょうか。心の底からがんばれたと思った時には、きっとその「がんばり」を見ていた人が君にエールを送ってくれるでしょう。

平成30年度は始まったばかりです。いい1年にできるように全力で!

北中スタンダードの確立を!

竜王北中は、「いい学校」と呼ばれて久しいです。いろいろな要素があるとは思いますが、**一つには、小さいことにも徹底して取り組んで、美しい環境を維持していることも大きな力の大きな原動力です。**しっかりとしたあいさつ、整理整頓、清掃活動や身なりなどに懸命に取り組んでいます。1年生も早くこの北中スタンダード(基準)を身につけて、北中メンバーになって欲しいと思います。

